

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月09日(火)

事務事業		国内交流事業			担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	30132
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり			根拠法令 個別計画等	国内交流事業友好都市田野畑村小学生交流開催要項			
	小項目	3	青少年の健全育成の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		深谷市内の小学生が、友好都市（平成18年3月5日締結）である岩手県下閉伊郡田野畑村の小学生と訪問及び受け入れを行い、3泊4日の集団生活を行う。								
目的 ※何のために		集団生活や交流を通して、豊かな感性と思いやりのある心を養い、将来地域社会の発展に貢献することのできる人材を育成することを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市内在住小学校5・6年生の児童（定員30名）								
手段 ※どのように		開催場所は両市村1年ごとに交代で行っている。相互の施設・スポットを巡りながら、体験学習等を行う。また、資料館の見学などを通して、文化や歴史に興味・関心を持ってもらう。								
成果 ※何を求めるか		参加することによって、両市村の文化的知識を深めるとともに、交流を通じて友情や思いやりの心を育むなど交流の場を提供する。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	国内交流事業	1,403,029
本事業の 主な業務		・友好都市との国内交流業務							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・交流事業田野畑村訪問（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）	・交流事業田野畑村訪問	・交流事業田野畑村受け入れ	・交流事業田野畑村訪問	・交流事業田野畑村受け入れ	
事業費	予算（現額）	30,000	2,196,000	2,708,000	2,198,000	3,279,000	
	決算額	29,800	1,121,340	1,905,592	1,403,029	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	29,800	1,121,340	1,905,592	1,403,029	3,279,000	
人件費	従事職員数（人）	0.65	0.50	0.78	0.59	0.63	
	人件費相当試算※	5,115,213	4,005,083	6,413,348	5,001,486	5,549,348	
	総事業費試算	5,145,013	5,126,423	8,318,940	6,404,515	8,828,348	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	交流事業開催回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績値	0.00	1.00	1.00	1.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年1回の開催を維持することを、各年の目標値として設定 / 開催した回数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	深谷市小学生参加者数	目標値	人	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		実績値	0.00	29.00	30.00	30.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
成果指標 2	事業趣旨を理解した人の割合	目標値	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		実績値	0.00	100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	訪問中、田野畑村沿岸に津波警報が発表され、予定されていた事業の一部を実施できなかったが、田野畑村担当者と調整し安全に事業を継続することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	3泊4日の集団生活を通じて、参加児童は問題なく過ごすことができた。実施後に行った参加者アンケートではすべての児童が、思いやりのある行動することができたと回答しており、本事業の目的に即した交流活動を行うことができた。
			評価者 子ども青少年政策係長 飯村 啓史

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	参加申込を郵送や窓口のほかインターネットで受け付け、参加申込者の利便性を向上することができた。参加者の移動に使用するバスや宿泊先の手配を業務委託し、事務の効率化を図ることができた。
			評価者 子ども青少年政策係長 飯村 啓史